

藻の見遊山

企画展

「そうだ！海だ！海藻だ！ —いのちをつなぐ海の森—」

2010年7月10日(土)～9月20日(月・祝)

海に囲まれた島国で生活する日本人は、海藻をよく利用します。しかし、海藻が海のなかでどのような生活しているか、生態系のなかでどんな役割をしているのかなどは、案外と知られていません。この企画展では、茨城県沿岸の海藻や国内の代表的な海藻を展示しながら、海藻の色のひみつ、海藻の変わりもの、海の森にすむ動物、人による海藻の利用などを紹介し、海藻の知られざる素顔にふれていきます。

開催期間中には関連行事として、南三陸町自然活用センター所長の横浜康継先生を講師にお迎えして、記念講座「海藻の色の秘密にせまる」を開きます(8月7日(土)10:00～12:00。対象:中学生以上。定員30名)。また、大森海苔のふるさと館(東京都大田区)にて記念観察会「乾し海苔をつくろう」を開催します(8月8日(日)10:00～12:00。対象:小学生以上。定員30名。参加費50円)。なお、このたびの展示企画・準備に際しましては、横浜先生のほか、井上 勲先生、中庭正人先生、田中次郎先生、馬場将輔先生、北山太樹先生、寺田竜太先生、神谷充伸先生、倉島彰先生、青木優和先生、野田三千代先生、当真 武先生ら藻類学会員に協力いただきました。(湯原 徹)



【ミュージアムパーク茨城県自然博物館】

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日。ただし、7月19日(月)、9月20日(月)は開館し、翌日休館。8月16日(月)は開館し、翌日も開館。

入館料:大人720円(580円)、高校・大学生440円(300円)、小・中学生140円(70円)。()内は20名以上の団体料金。未就学児、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料。

所在地:茨城県坂東市大崎700番地

交通:車利用の場合:1)常磐自動車道谷和原ICから20分。鉄道・バス利用の場合:2)つくばエクスプレス守谷駅下車、関東鉄道バス「岩井行き」または「猿島行き」乗車、「自然博物館入口」下車、徒歩5分。3)JR 柏駅から東武野田線乗り換え、愛宕駅下車、茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車、「自然博物館入口」下車、徒歩10分。

連絡先:〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地

ミュージアムパーク茨城県自然博物館

Tel 0297-38-2000 URL: <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>



地域住民が主体となった藻場・干潟保全の取り組み

近年、藻場や干潟の重要性が一般社会にも広く認識されるようになり、保全や再生に関して様々な取り組みがおこなわれています。これまで、研究者や行政、水産関係団体等が取り組みの中心でしたが、地域の住民が主体となった藻場・干潟保全の活動が目立っています。

水産庁の「環境生態系保全活動支援対策」では、地域社会が藻場や干潟、ヨシ帯、サンゴ礁の保全や再生に取り組む活動

を国・自治体の交付金の形で支援しています。昨年来、各地で様々な団体・協議会が立ち上がり、徐々にですが研修や活動が始まりました。藻場・干潟の保全や再生を専門家や行政に委ねるのではなく、地域の皆さんが自ら取り組む姿は、「藻場・干潟は地域共有の財産」との認識が浸透している表れかもしれません。ただし、活動される方々は、一部の漁業者等を除いて藻類や底生動物のことをあまりご存じではありません。専門家として我々に何ができるのかということを自問自答しながら、学生を巻き込んだボランティア活動や委員会での助言等で未永く支えていきたいと考えています。